

神崎町ごみ分別アプリ **さんあ〜る**®

ごみ分別アプリ「さんあ〜る」は、分別方法を手軽に検索したり、資源やごみの収集日をお知らせする機能が付いた無料アプリです。

「ごみ出し日」をカレンダーで確認し、「分別帳」でごみの分別方法を検索できます。また、「便利帳」でごみの出し方一覧表などを閲覧もできます。

アプリの利用は無料です。アプリは下記QRコードからインストールできます。

Google Play



App Store



さんあ〜るは6言語対応（日本語・英語・シンハラ語・インドネシア語・ベトナム語・フィリピン（タガログ語））しております。



LINE 公式アカウント

情報発信や各種健診・教室、公共施設の予約窓口、通報窓口を設置することで、より町民の皆さんに身近で、利便性の高いポータルアプリになるよう、令和6年9月からLINEの公式アカウントの機能強化を行い、運用をしました。

町のLINE公式アカウントは令和5年7月から運用を開始しており、毎月の広報やイベント情報の配信、便利な機能を公開しています。現在500人以上の方が登録しています。ぜひ友達登録をお願いします！



便利な機能を追加中です！

▲友達登録はこちらから！



～デジタルで生活を便利に～ 神崎町のDX事業紹介

DXは、デジタル・トランスフォーメーションの略称で、デジタル技術を用いることで、生活やビジネスをより良い方向へ変えていくことを言います。

神崎町ではDX事業としてスマホ教室、スマート農業、LINE公式アカウントの開設など多くの取り組みを行っております。今回は町民サービスの向上を目指し、神崎町が取り組んでいるDX事業にご紹介いたします。

観光情報デジタル化推進事業

ことりっぷ「発酵の里さんぽ神崎」の電子書籍版の作成し、ことりっぷメディアでの配信を行っております。また、銚子から東京駅を運行する高速バスに電子書籍版ことりっぷのQRコードをラッピングし、多くの方に神崎町の観光名所を知っていただけます。

町を訪れた際にはスマートフォンで電子書籍版を見ながら観光できます。



◀令和6年4月から運行しているラッピングバス。道の駅発酵の里こうざきからご利用いただけます

▶右のQRコードを令和6年4月から駅のステーションホールや町SNS、道の駅発酵の里こうざき、銚子-東京間の高速バスに掲出、令和6年7月号から広報こうざきの表紙に掲載しております



スマート農業推進事業

スマート農業とは

少子高齢化や担い手不足が深刻化している農業において、先進的技術を活用した「スマート農業」を推進しており、人・農地プランの中心経営体に位置付けられた認定農業者を対象に「スマート農機導入経費」を補助することで農産物の収量の向上や、労働者の省力化を目指しています。



▶令和5年10月11日に農業用ドローンの説明を受ける高橋光男農林水産大臣政務官（写真左から2番目）

◀令和6年4月22日に自動運転播種機の試乗を行う林幹雄前衆議院議員



▲GPSを利用した自動田植機

神崎町のスマート農業

令和6年度は1団体から申請があり、「食味収量メッシュマップコンバイン」の導入支援を行いました。この農機は、GPSを利用した無人で動くコンバインで、担い手不足の解消に寄与しています。

また、最先端のスマート農業を行っている神崎町ではさまざまな地域からの視察を受け入れています。

スマートフォン教室

神崎町では令和6年3月に「神崎町DX推進計画」を策定し、デジタルデバйд対策に取り組んでおります。本事業は総務省の「デジタル活用支援推進事業」を活用し、無料のスマホ教室を開催するもので、8月以降に月2回程度開催し、延べ30人以上の方に参加いただいています。

1月以降はスマホで簡単に確定申告を行う方法についても紹介する予定ですので、ぜひご参加ください。

※11月以降のスマートフォン教室の開催日程についてはP7に掲載しております。



▲スマホ教室の様子

授業におけるICTの活用

電子黒板やデジタル図鑑を整備することで、1人1台の端末等のICTの効果的活用と授業や教材のデジタル化を促進し教育の質向上を目指しております。

令和6年度は小学校に電子黒板を新規で2台設置し、デジタル図鑑についても神崎小学校に73冊、米沢小学校に69冊を年内に納品する予定となっています。

▶電子黒板を活用して授業を進める神崎中学校

